

と呼ばれる激動の時代、全国ではさまざまな人物が活躍しました。実と小原鉄心という、近代日本を形成する上で重要な役割を担った人物がここでは、その二人の足跡を紹介します。

市制100周年。町から市となり、現在に至るまで100年にわたって発展し、大垣市が誇る先賢について学び直してみませんか。

近代の大垣や日本の礎を築いた先賢たち

明治20年(1887)、日本で学位令が制定されました。その翌年には、初めて行われた博士号授与式において、全国25人のうちの1人として松本荘一郎が工学博士号を授与されています。

その後も、理学博士の松井直吉や文学博士の南条文雄など、大垣出身の博士が次々と誕生し、明治時代だけでも10人にのぼりました。

こうしたことから、大垣は「博士のまち」と呼ばれるようになり、各分野で熱心に学問に取り組んだ先賢の活躍のうかがい知ることができます。

星巖や鉄心が江戸時代から明治時代へと続く道を築き、そして明治に活躍した先賢へと人脈がつながり、「博士のまち」・「文教のまち」として現在まで続いているのです。

大垣の先賢については



奥の細道むすびの地記念館へ

松尾芭蕉の俳諧紀行文『奥の細道』の解説をはじめ、芭蕉の人となりや人生を紹介する「奥の細道むすびの地記念館」。

ここに「先賢館」があり、紙面で紹介した梁川星巖、小原鉄心をはじめ、江馬蘭齋、飯沼慾齋、江馬細香の5人の先賢に関する常設展示を行っているほか、館外には、小原鉄心の別荘だった無何有荘大醒樹=写真・右=が移築・展示されています。



また、企画展示室では、夏期に開催する企画展で、前述の5人以外にも焦点を当てて展示を行っています。



そのほか、先賢を紹介した漫画=写真・左=や図録も販売されており、大人も子どもも問わず学べる場となっています。

- ▷ところ／大垣市船町2-26-1
- ▷展示時間／午前9時～午後5時 ※多目的室などは、午後9時まで開館
- ▷入館料／300円 ※高校生以下無料
- ▷アクセス／大垣駅南口から徒歩16分。または名阪近鉄バスに乗り、「奥の細道むすびの地記念館前」バス停下車すぐ
- ▷駐車場／無料駐車場が隣接
- ▷問合せ／奥の細道むすびの地記念館 (☎84-8430) へ

春の芭蕉祭

奥の細道むすびの地 大垣

とき 4月8日(日) 10:00～15:00
ところ 奥の細道むすびの地周辺



桜のトンネルをくぐる舟下り

奥の細道むすびの地記念館を中心に開催する「春の芭蕉祭」。舟下りや俳句まつりなど催しが盛りだくさんです。春爛漫のむすびの地に、ぜひお越しください。

詳しくは、大垣観光協会 (☎77-1535) へ。

木枘スタンプラリー

- ◇会場／奥の細道むすびの地記念館、中心市街地一帯ほか
- ◇内容／木枘のパーツを使ったスタンプラリー (ポイント5か所)
- ◇ラリーカード配布／奥の細道むすびの地記念館イベント広場など

春の市民俳句まつり

- ◇会場／奥の細道むすびの地記念館、大垣城ほか (全5か所)
- ◇内容／投句と表彰 ※当日投句は午前10時から正午まで上記会場にて受付

水門川舟下り

- ◇内容／市営東外側駐車場前から奥の細道むすびの地記念館前まで (1.1km) の舟下り ※午前10時～午後3時に6運航
- ◇対象／「木枘スタンプラリー」で全5か所のスタンプを集め、「春の市民俳句まつり」で投句をした人 (先着288人)



おおがき大茶会

おおがき大茶会

- ◇会場／奥の細道むすびの地記念館イベント広場、大垣城、無何有荘大醒樹
- ◇内容／お茶とお菓子のおもてなし
- ◇参加費／200円 (無何有荘大醒樹は500円)

奥の細道むすびの地記念館

春まつり

3月24日(土)～
4月15日(日)

3月24日から4月15日まで、奥の細道むすびの地記念館周辺で「春まつり」が行われます。

期間中の毎日、軽食などが楽しめる移動販売車が出店するほか、午後6時から10時まで桜のライトアップが行われます。

詳しくは、大垣観光協会 (☎77-1535) へ。

文化施設めぐり

4月8日は入館料が無料

「春の芭蕉祭」に合わせて、4月8日は、右の施設の入館料が無料になります。

また、「水の都おおがき舟下り」(3月31日～4月15日)の開催に合わせて、期間中、上の4館は休まず開館するほか、奥の細道むすびの地記念館(芭蕉館常設展示・先賢館)は午後8時まで、時間を延長して開館します。

詳しくは、文化振興課 (☎47-8067) または、各施設へ。

- 奥の細道むすびの地記念館
- 大垣城
- 郷土館
- 守屋多々志美術館